

第【 2 】学年 【 国語 】科学習指導計画

月	単元名	小単元 目標	主な学習活動・内容	評 価 規 準				
				関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
4	名づけられた葉 【読む・詩】	・言葉の用い方や表現の特徴に注意し、自分なりの感想をもちながら読む。	1 詩を繰り返し音読し、詩に描かれた世界を読み深める。 2 詩の表現に着目し、作者の「明日」の受け止め方や感じ方を捉える。	・比喩的に表現された「明日」についてのイメージを生かし、楽しんで朗読しようとしている。	・表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。			・抽象的な概念を表す語句について関心をもち、語句の意味について調べている。
	セミロングホームルーム 【読む・物語】	・登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。	1 作品を通読する。 2 登場人物の心情の変化を捉え、人と人の触れ合いについて、自分の考えを持つ。 3 登場人物の行動について推論し、自分の考えをまとめる。	・学習の課題に沿って作品を読み、情景や登場人物の気持ちを想像しようとしている。		・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している。 ・作品に表れているものの見方や考え方について、感想をまとめている。	・登場人物の言動や心情を表す言葉に着目して、作品を読み進めている。 ・問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読んでいる。	
5	言葉1 類義語・対義語・多義語 【言語事項】 敬語	・類義語と対義語、多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意する。 ・敬語の種類を理解し、敬語を使って話すことができる。	1 導入の課題に取り組み、言葉の意味に興味をもつ。 2 教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。 3 身の回りにある言葉から、類義語・対義語・多義語について辞書で調べ、理解を深める。	・類義語・対義語・多義語に興味をもって授業に取り組もうとしている。			・類義語・対義語・多義語の意味について、具体例に当てはめて理解している。 ・敬語の種類について理解し、正しく使うことができる。	
	人間は他の星に住むことができるのか 【読む・説明】	・「情報を読み解く力」を育成する。 ②⑤⑨	1 本文を通読し、要旨を捉える。 2 説明の鍵となる言葉に着目して、事例ごとに内容の読解を進める。	・全体の部分の関係に着目して文章の内容を理解しようしたり、構成について自分の考えをまとめようとする。		・文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。	・文章の全体と部分の関係に着目して読み、内容を理解している。 ・抽象的な概念を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	
6	漢字1 熟語の構成 【言語事項】	・熟語の構成について理解する。	1 導入の例をもとに、熟語の構成について考える。 2 教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 3 練習問題に取り組む。構成の種類について理解する。 練習問題に取り組む。	・熟語の構成について興味をもち、理解しようとしている。			・熟語の主な構成について理解している。	

	<p>短歌の世界 短歌十首 【読む・短歌】</p>	<p>・歌に示された語句の効果的な使い方や文章の描写の効果を理解し、情景を想像しながら朗読する。 ・心情が伝わるように、描写を工夫して短歌を創作する。 ②</p>	<p>1 「新しい短歌のために」を通読し、短歌の特色などを知るとともに、六首それぞれに込められた心情や情景を想像する。 2 「新しい短歌のために」短歌十二首から好きな一首を選び、その理由を挙げるなどして友達と交流する。 3 短歌を作る。 4 学習を振り返る。</p>	<p>・短歌の形式や表現に興味をもち、その世界に親しもうとしている。</p>		<p>・学習した短歌の表現の工夫を参考にして、自分の体験や思いが伝わるように短歌を作っている。</p>	<p>・語句の使い方や描写の工夫に触れながら、短歌を読み味わい、感想をまとめている。 ・筆者のものの見方や考え方について、自分の体験や読書経験と関連つけて感想をまとめている。</p>	<p>・短歌に使われている言葉の意味について考え、語感を磨いている。</p>
7	<p>文法 用言 【言語事項】</p>	<p>・用言の活用について理解する。</p>	<p>1 用言の活用のしくみを知る。 2 「動詞・形容詞・形容動詞」を学習する。</p>	<p>・用言の種類やはたらき・活用の仕方について理解を深め、日常の言葉遣いを正しくしようとしている。</p>	<p>用言の活用について理解し、日常の言葉遣いに応用しようとしている。</p>			<p>・用言の活用について理解している。</p>
9	<p>壁に残された伝言</p>	<p>・原爆の「あの日」を静かに語り、多くの人に「あの日」を伝えていく。</p>	<p>1 本分を通読して、概要を捉え、内容を理解する。 2 筆者の思いを捉え、筆者のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 3 本の紹介や文章を書く活動を通して、自分の考えを表現する。</p>	<p>・筆者の思いを捉え、筆者のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。</p>			<p>・「伝言」という表現に着目して、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持っている。</p>	<p>・抽象的な概念を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>
	<p>枕草子 【読む・短歌】</p>	<p>・日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ。 ・伝えたいことを明確にし、自分の季節感が効果的に伝わるように、描写や構成を工夫して書く。 ・朗読を通して言葉の響きや調子を楽しみ、四季折々の風物に寄せる作者のものの見方、感じ方に触れる。 ②</p>	<p>1 「枕草子」を朗読し、古文に読み慣れる。 2 四季の趣について、作者の感じ方を読み取る。 3 自分流「枕草子」を書く。 4 書いた文章を友達と読み合い、清少納言の感じ方について感想をまとめる。</p>	<p>・「枕草子」の内容に興味をもち、朗読して内容を理解しようとしている。</p>		<p>・自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して書いている。</p>	<p>・描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節に対するものの見方や考え方について、感想をまとめている。</p>	<p>・歴史的仮名遣いを理解し、「枕草子」の文体の特徴を生かして朗読している。</p>
10	<p>仁和寺にある法師 「徒然草」から 【読む・古文】</p>	<p>・古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ・描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、作者のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。</p>	<p>1 全文を通読する。 2 場面の状況と人物の心情を読み取る。 3 学習を振り返る。</p>	<p>・「徒然草」の表現に慣れ親しみ、内容について理解しようとしている。</p>			<p>・「徒然草」を朗読し、表現を味わいながら、作者の考え方について、自分の感じ方と比較して感想をまとめている</p>	<p>・「徒然草」を朗読し、登場人物の行動や心情について理解している。</p>

	言葉2 敬語 【言語事項】	・日本語の敬語表現の特徴について理解を深め、その使い方を身につけ、相手や目的に応じて言葉を工夫することの大切さに気づく。	1 導入の例文を読み、相手に敬意を表す表現について意見を発表し合う。 2 敬語の働きや種類(丁寧語・尊敬語・謙譲語)について理解する。	・コミュニケーションにおける敬語の役割を理解しようとしている。				・敬語には丁寧語・尊敬語・謙譲語があることを理解し、相手に応じて使っている。
1 1	平家物語 扇の的 【読む・古文】	・冒頭部分を音読することで古文の表現に慣れ、古典の世界を楽しむ。 ・古典の文書を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を楽しむ。 ・登場人物の心情を想像しながら作品を読み、古典に描かれたものの見方や考え方について自分の考えをも	1 文語文の部分を朗読する 2 登場人物の行動や心情についてまとめる。 3 冒頭の「祇園精舎」を暗唱する。	・古典に描かれた人物の行動や心情をとおして古典の世界を読み味わおうとしている。	・古文独特の表現の仕方や古文の特徴に注意して、音読、暗唱している。		・古文を朗読することをおして、歴史的仮名遣い、古文と現代語の意味や言葉遣いの違いなどを理解している。	
	漢詩の風景 【読む・漢文】	・漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ・漢詩とその解説文を読み、詩の情景や人物の心情を想像するとともに、漢詩特有の表現について考えをまとめる。	語句の意味や詩の構成などに注意して漢詩を朗読し、リズムを味わう	・漢詩独特の言葉遣いやリズムなどに関心を持ち、進んで漢詩に親しもうとしている。	・漢詩独特の表現を学び、それを生かして音読している。		・漢詩の中に表れている人間や社会、自然について理解している。	
1 2	動物園でできること【読む】	・文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取る。 ・筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。 ②⑤	1 本文を通読する。 2 実践している三つの事例をそれぞれ要約する。 3 筆者の主張を読み取り、自分の知識と体験を関連付けて考えをまとめる。 4 例示の効果を考える。	・筆者の主張や表現の工夫などを読み取ろうとしている。	・自分の知識と体験を関連付けて考えをまとめる。		・筆者の主張を正確に読み取っている。	
1 2	走れメロス 【読む・小説】	・語句の効果的な使い方や表現の巧みさを読み味わい、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。 ・表現のしかた及び主人公の考え方について、根拠となる部分を挙げて自分の考えをもつ。 ・文章の形式を選び、表現のしかたを工夫して書く。②	メロスの様子と思いをまとめ、最後の場面を中心に、登場人物の気持ちをまとめる。	・構成や表現に着目し、作品に描かれた人間の生き方について考えようとしている。	・主人公の行動とその心情を読み取り、感想を書く。		・小説に描かれた人物の行動や思いについて考えている。	・文章中の言葉の意味・漢字について理解している。
3	助詞・助動詞文法 【言語事項】	助詞・助動詞について理解する。	「助詞・助動詞」を学習する。	・助詞・助動詞の種類や性質の理解を深める。	・ことばのはたらきについて理解し、日常の言葉遣いに応用しようとしている。		・助詞・助動詞の性質を理解している。	

第【2】学年 【社会科】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【歴史】 近世の日本 近世の日本	1. ヨーロッパ人との出会いと全国統一	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解させ、鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解し、その知識を身に付けている。 ・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業と、当時の対外関係や文化に関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な資料から情報を適切に選択して読みとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ文化の伝来が日本の社会に及ぼした影響を、キリスト教や鉄砲の伝来、南蛮貿易に注目して、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業と、当時の対外関係や文化に関する様々な資料から読みとった情報を図表にまとめたり表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航に対する関心を高め、意欲的に追究している。
5	【地理】日本 日本のさまざまな地域 日本の地域的特色	1. 日本の地形	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土の位置及び領域の特色と多面的・多角的に考察し、日本の現状と位置と領域の面から大観させる。 ・日本の地形の特色を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域構成を、地図を活用して適切にとらえている。 ・日本の地形の特色には地域差があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意欲的に追求し、日本の地域構成を大まかにとらえようとしている。
6		1. 日本のさまざまな自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的視野から見た日本の地形や気候の特色を理解させるとともに、日本の自然環境に関する特色を大観させる。 ・地形や気候と人々の生活とのかわりを学ぶことを通して、地形と気候を取り上げる意義を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全体の視野から見て国内の地形や気候の特色や分布には地域差があること、暮らしに影響を与える様々な災害があることを理解し、その知識を地図上で身に付けている。 ・地球儀、地図（一般図や主題図）、統計資料などから、日本の地形の特色や気候区の分布を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ときに生命や財産を奪い、人々の生活に影響を及ぼす自然災害を、日本の自然環境や人間活動と関連付けて、多面的・多角的にとらえ、災害を防止するための努力や工夫について考察する。 ・資料から読み取った日本の地形の特色や気候区分を白地図や雨温図などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の変化に地域差があるなど、日本の地形や気候は、世界各国と比較して複雑であることに関心を持ち、意欲的にとらえようとしている。
7		2. 日本の人口	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の人口と人口密度、少子高齢化の課題を理解させるとともに、国内の人口分布、過疎・過密問題を取り上げ、日本の人口に関する特色を大観させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の過疎・過密地域を理解し、その知識を身に付けている。 ・人口構成や人口分布の特色を考察するために、人口ピラミッドや分布図を作成し、活用している。 ・日本の過疎・過密地域の情報を収集し、活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の過疎・過密の課題を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の人口構成や人口分布が大きいかたよっていることに関心を持ち、高齢化や少子化、過疎・過密がもたらす社会的な課題を欲的に追求している。
7		3. 日本の資源・エネルギーと産業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の資源・エネルギー消費の現状を理解させる。 ・鉱産資源の算出両やエネルギー消費量の分布を理解させる。日本の輸入依存について気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業の特色と課題について理解している。 ・日本の環境課題への対策と再生可能エネルギーの利用やリサイクルへの取組、技術開発に力を入れていることを理解している。 ・日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を、分布図やグラフなど様々な資料から読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の資源・エネルギー問題について、環境と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 ・日本の産業の特色と課題について、世界の産業と比較し関連付けて考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源やエネルギーの大量消費により、地球温暖化などの環境問題が世界的な問題になっていることと再生エネルギーの取組が日本各地でなされていることを意欲的にとらえている。

9	日本の諸 地域	4. 世界と日本の結び付き	世界的視野から日本と世界との交通・通信網の発達の様子や物流を理解させるとともに、国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる。	・交通網の発達で日本の貿易の内容が変化していることや、国内の交通網の整備が人々の暮らしに大きな変化をもたらしている様子を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界各地・日本国内の地域の結び付きが変化している様子を地図や図表などから読み取っている。	・交通・通信網の発達は、世界各地・日本国内の主要都市間を強く結び付けるが、その結果として発展する地域と過疎化する地域が生じることを考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。	・日本国内の交通・通信網の整備は、生活を便利に、豊かにする反面、地域間の格差を生み、過疎化する地域を生み出すなど、人々の生活に大きく影響していることに関心を持ち、意欲的にとらえようとしている。
		1. 九州地方 自然環境に注目して	・九州地方には火山が多く様々な災害を起こしている一方、恵みをもたらしている事に関心を持つ。 ・稲作や近代的な工業が発達してきたことを理解する。 ・工業化による深刻な公害が発生した水俣市が、環境モデル都市に選定される過程を捉える。	・地図や雨温図を通して自然環境の特徴をとらえている。 ・環境を保全するために砂防ダムや建設や土壌流出を防ぐ工夫がなされていることを理解している。 ・人口と産業の地域的な違いを地図上で読み取っている。	・自然災害や環境問題を自然環境の特色や地域開発の動向と関連づけて捉えている。 ・水俣市と福岡市の環境問題の原因と対策を多面的・多角的に考察している。	・九州地方の自然災害や公害について意欲的に追求しようとしている。 ・水俣市と福岡市の環境保全の取り組みを通して身近な地域の取り組み関心をもっている。
		2. 中国・四国地方 交通や通信に注目して	・中国・四国地方の地域的特色について、交通や通信のつながりに注目して考察させる。 ・過疎・過密地域のかかえる問題を具体的にとらえ、その解決が課題になっていることをとらえさせる。	・中国・四国地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ・地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・中国・四国地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集し、読み取っている。	・中国・四国地方の特色を、人口や都市・村落を中核とし多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ・都市と農村の変化を、自然環境や人々の生活、産業などと関連付けて考察している。	・中国・四国地方の自然環境、人口、産業などの特色について、交通網の整備と都市と農村の変化に関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 ・過疎、過密地域の問題と身近な地域の事象を含めて、広く関心を持っている。
		3. 近畿地方 環境保全に注目して	・近畿地方の地域的特色を産業や文化の歴史的背景や開発の歴史に着目し、環境保全の取り組みと関連付けて考察させる。 ・地域の地理的事象の形成や特色には、歴史的な背景があることをとらえさせる。	・近畿地方について自然環境や人口、産業などの特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・近畿地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取っている。	・近畿地方の地域的特色を、歴史的背景を中核として考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・近畿地方の様々な特色について、歴史的背景の違いに着目し、表現している。	・近畿地方の自然環境、人口、産業などの特色について伝統的な文化と歴史的背景に関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 ・様々な都市の形成、歴史的な背景や伝統的な文化の継承・保存について、関心をもって
		4. 中部地方 産業に注目して	・中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いと自然的、社会的条件の両面から考察してとらえさせる。 ・中部地方の産業が地域に果たす役割やその動向が、交通網の整備や外国との関係などによって変化していることを理解させる。	・中部地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ・中部地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	・中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	・中部地方の自然環境、人口、産業などの特色について関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。
		5. 関東地方 人口や都市・村落に注目して	・関東地方の地域的特色について、東京に日本を動かす中枢機能が集中していることに着目して、日本各地や世界との結びつきをとらえさせる。	・関東地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ・関東地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	・関東地方の地域的特色を、産業を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	・関東地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に他地域との結びつきに関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。
11		6. 東北地方 生活・文化に注目して	・東北地方の地域的特色を、伝統的な生活や文化を通して、その自然環境や歴史的背景、他地域との交流などから多面的に考察させる。	・東北地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ・東北地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	・東北地方の地域的特色を、産業を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	・東北地方の自然環境、人口、産業などの特色について伝統的な生活や文化に関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。

12	【歴史】 近世の日 本	7. 北海道地方 自然環境に注目して	・北海道地方の地域的特色を、自然環境の特色と関連付けてとらえさせる。	・北海道地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ・北海道地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	・北海道地方の地域的特色を、産業を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	・北海道地方の自然環境、人口、産業などの特色について特に広大で冷涼な自然環境に関心をもち、意欲的に追求しようとしている。
		2. 江戸幕府の成立と鎖国	・江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解させる。	・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立および農村の様子、鎖国下の対外関係を理解している。 ・学習課題に関する史料、年表などの様々な資料を適切に読み取っている	・学習課題を見だし、政治の特色を多面的・多角的に考察し、結果を適切に表現している。	・江戸幕府の政治、身分によって異なる人々の暮らし、鎖国下の対外関係に対する関心を高め、意欲的に追究している。
		3. 産業の発達と幕府政治の動き	・身近な地域の特徴を生かした事例を選んで、農業をはじめとする諸産業の発達の様子を理解させ、それらが発達した理由を考えさせる。	・産業・交通の発達、教育の普及、文化の特色を、身近な地域の歴史的現象に関連させて理解し、その知識を身に付けている。 ・学習内容に関する図版、グラフ、史料、年表、歴史地図などの様々な資料を適切に選択して読み取っている。	・産業・交通の発達、江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まり、新しい学問・思想の動きから課題を見だし、多面的・多角的に考察し、結果を適切に表現している。	・産業・交通の発達、教育の普及、町人文化や地方の生活文化に対する関心を高め、意欲的に追究している。
2	開国と近代日本の歩み	1. 欧米の進出と日本の開国	・欧米諸国のアジア進出を近代革命、アジア諸国の動きを通して理解させる。 ・開国から江戸幕府滅亡までの過程を欧米諸国の動きと関連付けて理解させる。	・欧米諸国が近代社会を成立させ、アジアへ進出した経緯と開国から江戸幕府滅亡までの経緯を理解している。 ・欧米諸国とアジア諸国の動きについて資料を収集し、考察している。 ・開国の影響と幕府政治の推移を追及している。	・ヨーロッパのアジア侵略の背景や理由を多面的多角的に考察し、適切に表現している。 ・開国の影響と幕府政治の推移について考察し、判断している。	・欧米諸国の近代革命や産業革命に関心をもち、近代国家の成立やアジア諸国への影響について意欲的に追及している。
3		2. 明治維新	・明治維新の諸政策の特色を考えさせる。 ・明治維新によって、近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・立憲制国家が成立し日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・日本の議会政治の始まりと国際社会の地位向上を理解し、知識を身につけている。 ・富国強兵、殖産興業、文明開化を通して、人々の生活が大きく変化しことをまとめている。 ・自由民権運動、憲法制定について資料から読み取っている。	・新政府の諸改革の特色を多面的多角的に考察している。 ・自由民権運動から憲法制定までの内容について考察している。	・明治維新の経緯や改革の内容、人々の生活の変化に関心をもち、意欲的に追及している。

第【2】学年 【数学科】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	式 の 計 算	1 式の加法, 減法	同類項をまとめる 一次式の加法と減法	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式や多項式, 次数や同類項の意味を理解している。 ・簡単な多項式の加法と減法の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の加法, 減法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の加法, 減法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。
		2 いろいろな多項式の計算	多項式と数の乗除	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と数の乗法, 除法の計算をすることができる。 ・文字が2つ以上ある式について, 式の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と数の乗法, 除法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。 ・文字が2つ以上ある式について, 式の値を求める方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と数の乗法, 除法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。 ・文字が2つ以上ある式について, 式の値を求める方法を考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。
		3 単項式の乗法, 除法	単項式の乗除	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式の乗法, 除法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式の乗法・除法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。
		1 文字式の利用	文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・数量及び数量の関係を帰納や類推によって捉え, それを文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を理解している。 ・目的に応じて等式を変形することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数の性質などが成り立つことを, 数量及び数量の関係を捉え, 文字式を使って説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
6	連 立 方 程 式	1 連立方程式とその解	連立方程式とその解	<ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立方程式の必要性和意味, その解の意味を理解している。 ・2つの二元一次方程式の中の文字に数を代入して, その数が連立方程式の解であるかどうかを確かめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの二元一次方程式を成り立たせる文字の値の組を求める方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式の必要性和意味を考えようとしている。
		2 連立方程式の解き方	加減法・代入法	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式を加減法を用いて解くことができる。 ・連立方程式を代入法を用いて解くことができる。 ・係数が整数でない場合などの連立方程式を解くことができる。 ・$A=B=C$の形の方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一元一次方程式と関連づけて, 連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加減法や代入法による連立方程式の解き方を考えようとしている。
		1 連立方程式の利用	連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式を活用して問題を解決する方法について理解している。 ・事象の中の数量やその関係に着目 	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 ・求めた解や解決の方法をふり返 	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。

7	一 次 関 数			して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。	て、それらが適切であるかどうかを考察し表現することができる。	・連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
		1 一次関数	一次関数	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の意味を理解している。 一次関数の関係を式に表すことができる。 一次関数の関係を表す式に数を代入し、対応する値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、一次関数として捉えられる2つの数量を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中から一次関数として捉えられる2つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。
		2 一次関数の値の変化	一次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> 変化の割合の意味を理解している。 一次関数の変化の割合の特徴を理解している。 一次関数の変化の割合を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の変化の割合の特徴を、反比例と比較して見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の変化の割合の特徴を、反比例と比較して見いだそうとしている。
		3 一次関数のグラフ	一次関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数のグラフの特徴を理解している。 一次関数のグラフの切片や傾きの意味を理解している。 一次関数の関係をグラフに表すことができる。 一次関数について、xの変域に制限があるときのyの変域を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連づけて考察し表現することができる。 一次関数について、xの変域に制限があるときのyの変域を求める方法を、グラフと関連づけて考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連づけて考えようとしている。 一次関数について、xの変域に制限があるときのyの変域を求める方法を、グラフと関連づけて考えようとしている。
		4 一次関数の式を求めること	一次関数の式を求めること	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の式を、与えられた条件から求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の特徴に着目して、与えられた条件から式を求める方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の式を与えられた条件から求める方法を、表、式、グラフを相互に関連づけるなどして考えようとしている。
		1 方程式とグラフ	$ax+by+c=0$ のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> $b \neq 0$のとき、二元一次方程式$ax+by+c=0$は、xとyの間の関数関係を表す式とみることができると理解している。 二元一次方程式の解を座標とみて、座標平面上に表すことができる。 $a=0$または$b=0$のときの二元一次方程式$ax+by+c=0$のグラフの特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式を関数関係を表す式とみることと、二元一次方程式の解と一次関数のグラフの関係を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式の解と一次関数のグラフの関係について考えようとしている。
		2 連立方程式とグラフ	連立方程式の解とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式の解は座標平面上の2直線の交点の座標であることを理解している。 座標平面上の2直線の交点の座標を連立二元一次方程式を解いて求めたり、連立方程式の解を2直線の交点の座標から求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 連立二元一次方程式の解の意味について、一次関数と二元一次方程式のグラフとの関係を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 連立二元一次方程式の解の意味について、一次関数と二元一次方程式のグラフとの関係から考えようとしている。
10		1 一次関数の利用	一次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数を活用して問題を解決する方法について理解している。 一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表し、問題を処理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中から取り出した2つの数量の関係を、理想化したり単純化したりして一次関数とみなし、変化や対応の様子を調べたり、予測したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 一次関数を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。

1 1	図形の調べ方	1 角と平行線	対頂角・同位角・錯角	<ul style="list-style-type: none"> ・対頂角，同位角，錯角の意味を理解している。 ・平行線の性質，平行線になるための条件を理解している。 ・対頂角や平行線の性質を用いて，角の大きさを求めたり，直線の位置関係などを表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対頂角や平行線の性質を見だし，根拠を明らかにして説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角の性質を帰納的に確かめて演繹的に導いたり，それを用いて角の大きさを求めたり，直線の位置関係を表したりしようとしている。
		2 多角形の角	多角形の内角・外角の和	<ul style="list-style-type: none"> ・「三角形の内角の和は180°である」ことなどを，帰納的な方法で示すことでは，その性質が常に成り立つことを示しているとはいえないことを理解している。 ・三角形の内角・外角の意味及びその性質について理解している。 ・鋭角，鈍角，鋭角三角形，鈍角三角形の意味を理解している。 ・多角形の内角の和と外角の和の意味を理解している。 ・多角形の内角の和や外角の和などを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「三角形の内角の和は180°である」ことなどを，平行線の性質などをもとにして確かめ説明することができる。 ・多角形の内角の和や外角の和などを予想し，それが正しいことを考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角の和や外角の和についての性質を見いだそうとしている。
		3 三角形の合同	三角形の合同条件	<ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形の性質や，三角形の合同条件の意味を理解している。 ・合同な2つの三角形の辺や角の関係などを記号を用いて表したり，その意味を読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の決定条件をもとにして，三角形の合同条件を見いだすことができる。 ・三角形の合同条件を用いて，2つの三角形が合同であるかどうかを考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を用いて，2つの三角形が合同であるかどうかを考えようとしている。
		1 証明とそのしくみ	仮定と結論	<ul style="list-style-type: none"> ・命題の仮定と結論の意味を理解している。 ・命題の仮定や結論などを記号を用いて表したり，その意味を読み取ったりすることができる。 ・図形の性質などを証明することの必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質などを証明することの必要性和意味を考察することができる。 ・図形の性質などを証明するときのすじ道を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質などを証明することの必要性和意味を考察しようとしている。
		2 証明の進め方	三角形の合同条件と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・証明の進め方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を証明するために，見通しを立てて証明をかくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を証明するために，見通しを立てて証明をかこうとしている。
		1 2	図形の性質と	1 二等辺三角形	二等辺三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形の性質を理解している。 ・定義，定理の意味を理解している。 ・二等辺三角形の性質を記号を用いて表したり，その意味を読み取ったりすることができる。 ・逆，反例の意味を理解している。
2 直角三角形の合同	直角三角形の合同条件			<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の合同条件の必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件をもとにして，直角三角形の合同条件を見いだすことができる。 ・直角三角形の合同条件をもとにして，図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の合同条件を見いだしたり，それを用いて図形の性質を証明したりしようとしている。
1 平行四辺形の性質	平行四辺形の性質			<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の性質を理解してい 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件などをもとにし 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の性質について調べ，

	証明		<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質を論理的に確かめ証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 証明しようとしている。 	
	2	平行四辺形になるための条件	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形になるための条件と証明 	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形になるための条件を理解している。 平行四辺形になるための条件を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の合同条件などをもとにして、平行四辺形になるための条件を論理的に確かめ証明することができる。 平行四辺形になるための条件などをもとにして、図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形になるための条件について調べ、証明しようとしている。
	3	いろいろな四角形	<ul style="list-style-type: none"> 長方形・ひし形・正方形 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係を論理的に考察し整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係などについて考えようとしている。
	4	平行線と面積	<ul style="list-style-type: none"> 等積変形 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の関係を理解している。 平行線と面積の関係をもとに、1つの図形を面積の等しい別の図形に変形することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の關係に着目して、1つの図形を面積の等しい別の図形に変形する方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の關係に着目して、1つの図形を面積の等しい別の図形に変形する方法を考えようとしている。
	5	四角形の性質の利用	<ul style="list-style-type: none"> 四角形の性質の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で四角形の性質を利用している場面を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 四角形の性質を具体的な場面で活用することができる。 四角形の性質を活用した問題解決で得られた結果を、意味づけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 四角形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 四角形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
2	場合の数と確率	1	<ul style="list-style-type: none"> 確率の求め方 	<ul style="list-style-type: none"> 多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 多数回の試行によって得られる確率と、場合の数をもとにして得られる確率を比較し、その関係について考察し表現することができる。 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方について考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。
		2	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな確率 	<ul style="list-style-type: none"> 樹形図や二次元の表などを利用して、起こり得るすべての場合を求め、同様に確からしいことをもとにして、いろいろな場合について確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 起こりうるすべての場合を、樹形図や二次元の表などを用いて考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方について考えたり、いろいろな場合について確率を求めたりしようとしている。
		3	<ul style="list-style-type: none"> 確率の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面で、確率を活用して問題を解決する方法について理解している。 問題を解決するために、起こり得るすべての場合を求めたり、確率を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 確率について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 確率を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
3	箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図・四分位範囲 	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解している。 箱ひげ図をかいたり、四分位範囲を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を考えようとしている。 箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、表現しようとしている。 	

とデータ の活用	2 データを活用して、問題を解決しよう	箱ひげ図・四分位範囲の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図や四分位範囲などを利用して、問題を解決する方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、見いだした結論や過程を批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いた問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
-------------	---------------------	---------------	---	--	---

1第【2】学年【理1】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	化学変化と原子・分子	1. 物質の成り立ちと化学変化	○物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いださせる。 ○物質は原子や分子からできていることを認識させる。	・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
5		2. いろいろな化学変化 ②, ⑤, ⑨	○原子や分子を化学式で表すことができるようにする。 ○化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようにする	・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子についての基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な化学変化の表し方などを身につけている。	・物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案してモデルを使った実習などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
6		3. 化学変化と物質の質量 ②, ⑤, ⑨	○2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いださせる。 ○さまざまな化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明できるようにする。 ○酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識させ、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づかせる。	・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7	動物の世界	1. 生物の体をつくるもの ⑤	○生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし理解させる。	・生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
9		2. 植物の体のつくりとはたらき ②	○植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解させる。	・植物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・植物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・植物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
10						

11	3. 動物の体のつくりとはたらきはたらき ②	○消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解させる。 ○不要となった物質を排出するしくみがあることを理解させる。	・動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・動物の体のつくりとはたらきのうち、生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・動物の体のつくりとはたらきのうち、生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
12	4. 動物の行動のしくみ ⑤	○動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解させる。	・動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
1 2 3	天気と その 変化	1. 地球をとり巻く大気 のようす ②、⑨ 2. 大気中の水の変化 3. 天気の変化と大気 の動き ⑤、⑨ 4. 大気の動きと日本 の四季	○地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解させ、身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いださせる。 ○霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解させる。 ○地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識させる。 ○気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解させる。 ○日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉えさせる。 ○大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解させる。 ○日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解させる。	・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ・霧や雲の発生について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、霧や雲の発生についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ・前線の通過と天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、前線の通過と天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 ・日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・気象観測に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・前線の通過と天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・天気図から気圧配置や気象要素を読みとることができる。 ・気象要素の変化から、前線の種類や通過の様子を読みとることができる。 ・気象データをもとに、各地の気象要素を天気図に記入することができる。 ・日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

1第【 2 】学年 【 理 2 】科学習指導計画

月	单元名	小单元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				関心・意欲・態度	科学的な思考	技能・表現
4 5 6 7	A-4 電流と そのは たらき	1. 電流の性質 ⑤, ⑨	○回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いださせるとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得させる。	・電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と電気抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・電流に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
9 10 11		2. 電流の正体	○日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べさせ、静電気と電流には関係があることを見いださせ、真空放電の実験から、電流の正体について理解させる。	・静電気に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の関係や電子、放射線についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・静電気や電子に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、静電気や陰極線の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・電流に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
12 1 2 3		3. 電流と磁界 ②	○日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させ、直流と交流の違いを捉えさせる。	・電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・電流と磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・電流と磁界に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

第【2】学年【音楽】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評価規準		
				関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
4	合唱	オリエンテーション 「翼をください」	・姿勢や呼吸などの基本的なことの確認 ・明るい歌声	"[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。"	[思] リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
5	合唱	「夢の世界を」	・曲の構成、曲想	"[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。"	[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	斉唱	「夏の思い出」	・日本の音楽・曲想、歌詞	"[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。"	[思] 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
6	鑑賞	「交響曲第5番ハ短調」	・音色、イメージ	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7	実技テスト 筆記テスト			・歌唱表現をすることに意欲的である。		
	合唱	「文化祭への取り組み」	・合唱の響き		・楽曲の持つ特徴を味わい、他のパートとの関わり合いや、全体の響きを理解しながら歌唱表現に取り組もうとしている。	・曲種に応じた発声や言葉の特性に留意しながら、正しい音程やリズムで表現しようとしている。
9	合唱	「文化祭への取り組み」 「夏の日の贈り物」	・合唱の響き ・曲想、歌詞	"[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。"	[思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
				[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。		[態] ※音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽

10	合唱	「文化祭への取り組み」	・合唱の響き			
11	鑑賞	実技テスト 「アイーダ」	・総合芸術 ・のびやかな歌声	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	斉唱	「サンタルチア」	・のびやかな歌声 ・いろいろな音楽	"[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付け, 歌唱で表している。"	[思] 音色, リズム, 旋律, 強弱, 形式を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	斉唱 合唱	「卒業式歌の取り組み」 (式歌, 校歌, 君が代)	・合唱の響き ・曲想、歌詞 ・曲の仕組	・歌唱表現をすることに意欲的である。 ・卒業生に感謝しつつ, 真剣な態度で取り組んでいる。	・楽曲の持つ特徴を味わい, 他のパートとの関わり合いや, 全体の響きを理解しながら歌唱表現に取り組もうとしている。	・曲種に応じた発声や言葉の特性に留意しながら, 正しい音程やリズムで表現しようとしている。
12	合奏	「さくらさくら」	・日本の音楽			
2	斉唱 合奏	「卒業式歌の取り組み」 (式歌, 校歌, 君が代)	・合唱の響き ・曲想、歌詞 ・曲の仕組	・歌唱表現をすることに意欲的である。 ・卒業生に感謝しつつ, 真剣な態度で取り組んでいる。	・楽曲の持つ特徴を味わい, 他のパートとの関わり合いや, 全体の響きを理解しながら歌唱表現に取り組もうとしている。	・曲種に応じた発声や言葉の特性に留意しながら, 正しい音程やリズムで表現しようとしている。
3	鑑賞	筆記テスト 実技テスト 「卒業式歌の取り組み」	・合唱の響き ・曲想、歌詞 ・曲の仕組			

第【2】学年 【 美 術 】科学習指導計画 (年間指導時数 35 時間)

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
4	アートゲーム (鑑賞) ③⑧	アートかるた	・ 「アートカードみえ」を使って、ゲームをしながら楽しく鑑賞する態度を身につける。		美術作品、文化遺産としての絵画や彫刻のよさや美しさ、表現の工夫などを感じとったり、味わったりする。	ゲームをしながら、対象のよさや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に鑑賞をしている。
5	太陽を描く ②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪	「太陽のイメージ」 ・ 自分だけの太陽を工夫して描き、自分らしく表現することの喜びに気づく。	・ 自分がとらえている太陽のイメージから、形や色を工夫し、自分だけの太陽を考える。	観察したことやイメージを基にスケッチなどをし、さまざまな技能や造形感覚を生かし、美しく創造的に表現する。	感じとったことなどを基に主題を決め、想像力を働かせて自分の思いにあった表現の構想をする。	太陽のエネルギーや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に表現をしている。
6					自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとったり味わったりする。	
7	ポスター (デザイン) ④⑤⑦⑧⑨	夏季休業期間の課題 ・ 訴える力が強く、オリジナリティーあふれる美しいポスターをつくる。	・ 「人権」・「地域安全」・「薬物乱用防止」の中からテーマを選び、夏季休業期間中にポスターを制作する。	表現の思いやイメージに応じてさまざまな技能や造形感覚を生かして、工夫しながら美しく个性的に表現する。	表現意図に基づき機能を考えて感性豊かな発想をし、かたちや色の構成などを工夫して、美しい表現の構想を深める。	思いを積極的に表現し、その喜びを味わおうとしている。
8						
9	太陽を描く ②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪	「太陽のイメージ」(続き) ・ 自分だけの太陽を工夫して描き、自分らしく表現することの喜びに気づく。	・ 自分がとらえている太陽のイメージから、形や色を工夫し、自分だけの太陽を考える。	観察したことやイメージを基にスケッチなどをし、さまざまな技能や造形感覚を生かし、美しく創造的に表現する。	感じとったことなどを基に主題を決め、想像力を働かせて自分の思いにあった表現の構想をする。	太陽のエネルギーや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に表現をしている。
10					自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとったり味わったりする。	

11	太陽を描く ②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪	<p>「太陽のような存在」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が表したい感じを鉛筆などのモノクロ表現素材でどのように表すかを工夫して描き、スケッチの基本技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分にとっての太陽のような存在を考え、その思いが表されるかたちとスケッチの表現方法を考える。 太陽のような存在の「感じ」が表現されるまで、鉛筆で描く。 	<p>発想や構想を元に対象への、自分思いがより強く込められた美しい表現を求めて、造形感覚を生かし、試行錯誤を繰り返して独創的な表現を創り上げる。</p>	<p>対象から感じとったことや思いにあったイメージから感性豊かな発想をし、かたちや色・素材感などを工夫して、美しく独創的な表現の構想をする。</p> <p>自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさ、意図と工夫などを感じとったり味わったりする。</p>	<p>自分にとって意味のある大きな存在のものを対象として、よさや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、対象への思いを込めて表すことやそれを鑑賞することに喜びをもって積極的に取り組んでいる。</p>
12			<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を的確に振り返り、獲得した学力を確認すると共に、自分の作品のよさを味わう。 班で自分の作品を紹介すると共に、班員の作品のよさや美しさを味わう。 			
1						
2						
3	アートゲーム (鑑賞) ③⑧⑩	<p>「あるないクイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> アートゲームを通して、じっくり作品を見る態度を養い、基本的な鑑賞技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アートカードみえ」を使って、クイズをつくりながら、鑑賞活動をする。 「アートカードみえ」の中から自分の好きな1点を選び、鑑賞・考察する。 		<p>美術作品や文化遺産としての絵画や彫刻などに親しみ、それらを理解すると共に、自分の味わい方を大切にして主体的に感じとったり、味わったりする。</p>	<p>クイズをつくったり解答を考えながら、対象のよさや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に鑑賞をしている</p>

第【 2 】学年 【 保健体育 】 科学習指導計画 (年間指導時数 105 時間)

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評 価 規 準		
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
4	【集団行動】	・集団としての規律やマナー、公正な態度を身につける。	・二列横隊 ・班編制	・集団としての規律やマナーを理解しながら、意欲的に取り組むことができる。	・集団行動(二列横隊)のポイントを理解しながら、取り組んでいるかどうか。	・基本的な隊形を習得し、集団の一員としての自覚をもつことができる。 ・集団行動としての規律やマナーを理解しながら、自分の行動
	【新体力テスト】 ⑤ ⑨	・自己の体力の現状を正しく把握し、生涯スポーツの実践や体力づくりの基礎を養う。 ・体力の向上を図るための行い方を理解し、課題解決するための練習計画の見直しをもつことができる。	・50m走 ・立ち幅跳び ・20mシャトルラン ・上体おこし ・握力 ・長座体前屈 ・ハンドボール投げ ・反復横跳び	・自己の体力の現状を正しく理解するための、各種目の取り組みを意欲的に行うことができる。 ・測定に必要な準備や、用具、場の設定を進んで行うことができる。 ・体力の向上を図るための行い方や課題解決のための練習計画の立案に意欲的に取り組むことができる。	・自己の体力の現状を踏まえ記録の軌跡を確認しながら、自己の体力に関する課題の設定を行うことができる。 ・体力の向上を図るための行い方や課題解決のための練習計画を自己分析しながら考えることができる。	・体力テストに向けて、最大パフォーマンスを発揮できるよう体調への自己管理を行うことができる。 ・体力の向上を図るための課題を解決するための計画をたてることができる。 ・測定方法、ルール等を理解して行うことができる。 ・体力の向上を図るための行い方を理解し、自分の体力の課題を見つけることができる。
5	男女 【バレーボール】	・チームの実態に応じた作戦をたててゲームを楽しむことができる。	・個人的技能 ・オーバーパス ・アンダーパス ・サーブ ・集団的技能 ・つなぎ(ラリーを続ける) ・ローテーション	・安全に留意しながら自分に適した目標を設定し、技能の向上を目指して仲間と工夫して意欲的に練習やゲームができる。また、ルールを把握しながら審判などのゲーム運営に積極的に関わることができる。	・技能の要点(オーバーパス、アンダーパス、サーブ、スパイク、ブロック)を理解した課題をもち、その課題解決を目指した練習ができる。 ・状況に応じて、ルールを工夫したり作戦を立て、発展的なゲームや練習を行うことができる。	・基本的な技能(オーバーパス、アンダーパス、サーブ、スパイク及びブロック)高め、ボールをつないだゲームを円滑に行うことができる。 ・安全に留意して、各種のルール、各種目のルール、競技、審判方法を理解できる。また、チーム内での個人の役割を理解しながら行動できる。
7	男女 【ハードル走】	・ハードリングやの方法やインターバル走の技能を高め、自己記録への挑戦や仲間との競争を楽しむことができる。	・ハードル走	・安全に留意しながら、技能や記録の向上を目指して仲間と協力して取り組むことができる。	・自分の目標や課題を持ちながら、練習や記録会に参加することができる。	・自分に合ったハードリングの方法や加速の仕方を身につけ、記録を向上することができる。 ・安全に留意して、競技のルールや練習方法・審判法を理解できる。

9 10	男女 【剣道】	<ul style="list-style-type: none"> ・礼を重んじ相手を尊重する態度を身につけることができる。 ・正しい打ち方、足さばきを身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼 ・基本姿勢 ・基本打ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道の特性や歴史に関心を持ち、礼を重んじ相手を尊重する態度で進んで取り組もうとする。 ・また、協力して練習したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀作法や基本姿勢・構えを正しく行うことができる。 ・基本の打ち方（面・小手・胴）を身につけることができる。 ・剣道の特性や学び方、歴史を理解するとともに、礼儀作法の仕方や基本姿勢・構えを理解し、知識を身に付ける。
11 12	男女 【バスケットボール】	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に適した課題解決に取り組み、バスケットボールの集団的スキルを生かした攻防を工夫して行うことができる。 ・チームの実態に応じた作戦をたててゲームを楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル ・パス ・シュート ・ピボット ・集団的スキル <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意しながら、技能の向上を目指して仲間と協力して創造できる。また、勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・チーム内の役割を果たし、仲間と協力して教えあい、楽しくゲームができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能の要点（ドリブル、パス、シュート、ピボット）を理解した課題をもち、その課題解決を目指した練習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能（ドリブル、パス、シュート、ピボット）高め、ボールをつないだゲームを円滑に行うことができる。 ・チームの実態に応じた課題の設定と作戦の組み立てが工夫できる。 ・ルール、競技や審判の方法を理解しすることができる。また、チーム内での個人の役割を理解しながら行動できる。
1 ②	男女 【陸上】	<ul style="list-style-type: none"> ・走る速さを競い合ったり、自己の記録を高めたりするために、記録を振り返りながら自己分析を行うなど仲間と協力して課題解決できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走 ・測定と自己分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標を設定し、仲間と練習を工夫したり、活発に練習を積み重ねたりして、高めあうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を向上させるための練習や競技の仕方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の能力に適した技能のポイントをつかみ、技能を高め競技したり記録を高めたりすることができる。 ・安全に留意して、各種のルール、競技、審判方法を理解できる。 ・自分の能力に適した課題の選び方、それに合わせた練習方法や競技の仕方を理解し、知識を身につけることができる。
2	男女 【サッカー】	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に適した課題解決に取り組み、サッカーの集団的スキルを生かした攻防を工夫して行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル ・パス ・シュート ・トラップ ・集団的スキル（ゲーム） 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意しながら、技能の向上を目指して仲間と協力して創造できる。また、勝敗に対して公正な態度をとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能の要点（ドリブル、パス、シュート、トラップ）を理解した課題をもち、チームの作戦をたてながらその課題解決を目指した練習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能（ドリブル、パス、シュート、トラップ）高め、ボールをつないだゲームを円滑に行うことができる。 ・ルール、競技や審判の方法を理解しすることができる。また、チーム内での個人の役割を理解しながら行動できる。
3 ⑨	男女 【跳び箱】	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の特性を味わい、個々の技を正確にできるようにするとともに、自己の課題を設定しその課題を仲間と協力して解決することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各種技の練習 2) 発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標を設定し、仲間と協力して技をより良くしたり、新しい技を習得したりして、互いに発表や評価をしながら高め合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標を持って、仲間と高め合い、練習や発表を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技に挑戦し、繰り返し練習することで、技をよりよくできるようになる。 ・よりよい技を身につけるために合理的な練習方法や場の設定を理解できる。

<p>5 ～ 3</p> <p>・日常生活を送るための望ましい行動や調和のとれた生活習慣を身につけることができる。</p> <p>②⑤⑨</p>	<p>・健康と環境 ・傷害の防止</p>	<p>・健康の保持増進のために必要な課題を発見したり調</p>	<p>・健康と環境の関連について、自分の知識や日常生活を振り返べたり、考えや意見をまとめて発表することができる。</p>	<p>・健康と環境について実践方法を習得することができる。</p>	<p>・健康な生活と環境との関連について、課題解決に役立つ知識を身につけることができる。</p> <p>・健康な生活と環境の関連について理解し、健康な日常生活を送るための望ましい行動や調和のとれた生活習慣を身につけることができる。</p>
--	--------------------------	---------------------------------	--	-----------------------------------	---

<備考>保健は年間を通して適時実施する。

体ほぐしの運動は、各単元にふさわしい運動や準備体操を適時実施する

第【2】学年 【 技術 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	製作(材料加工)	□作品を組み立て、仕上げることができる。	まっすぐぎぎを打つ。 手順通りにやすりがけを行う。	げんのうの使い方が分かる。 やすりがけの手順が分かる。		
5	電気エネルギーを利用する仕組み	□電気エネルギーを利用する仕組みを知る。 □電気エネルギーを熱、光、運動などのエネルギーに変換する仕組みを知る。	エネルギー変換の技術を見つける。 電気を作る仕組みを知る。 電気を供給する仕組みを知る。	エネルギー変換の科学的な原理・法則を理解している。		自分なりの新しい考え方や捉え方によって解決策を構想しようとしている
6	育成計画	生物育成の計画を立てる。	育成計画作成	育成計画を立てる必要性を知る。	育成計画を立てる必要性を考慮することができる。	生物の特性に合った育成計画を立てることが出来る。
6	栽培	計画に沿って作物を栽培することができる。	栽培	栽培に関する知識と技能が身につけている。		適切に管理することができる。
7	家畜や水産生物を育てる技術	家畜や水産生物を育成する技術の例や、問題解決の工夫を見つけることができる。	家畜や水産生物を育成する技術の例や、問題解決の工夫の例について調べる。	安全・適切に育成環境の調整や、家畜・水産生物の管理・収穫について理解している。	生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、地域社会の中から問題を見いだして課題を考えている。	進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
7	基礎技能 工具の使い方	□安全・適切に工具を使用する。	エネルギー変換を利用した製作品の製作や保守点検に使用する工具を正しく使用する。	組み立てや調整に必要な工具の適切な使用方法についての知識を身に付けている。	工具の工夫を考慮することができる。	進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
9	電気部品 定格表示	□定格表示を読み取る。	定格表示について知る。 たこ足配線の危険性について調べる。	定格表示の意味やたこ足配線の仕組みと危険性についての知識を身に付けている。 機器の点検すべき箇所を見つけ、保守点検と事故防止ができる。	機器の安全な使用について、自分の生活と関連付けて考えようとしている。	
9	機器を安全に使用しよう 電気による事故	□電気による事故の原因を知り、防止する方法を考えられる。 □機器の異常や不具合の状況を、ほかの人に説明できる。	感電やショートなどの経験について話し合い、電気による事故についてまとめる。 屋内配線とブレーカの仕組みと操作手順を知る。 漏電遮断機とアース線の働きを知る。	電気による事故の原因を知り、点検の重要性についての知識を身に付けている。 屋内配線とブレーカの仕組みを理解し、漏電、感電などの電気の事故防止ができる。	機器の安全な使用について、自分の生活と関連付けて考えようとしている。	
10	電気回路	□電気回路の企保運的な仕組みを知る。	電気機器には、電源、導線、負荷で構成される電気回路が組み込まれていることを知る。	電気機器の電源、導線、負荷のそれぞれの役割についての知識を身に付けている。 電気用図記号の意味を理解し、簡単な電気回路を回路図に表すことができる。	身の回りの製品の電気回路を考慮することができる。	電気回路の工夫を考え、示すことができる。

10 11 ・1 2	エネルギー変換を利用した製作品を作ろう 製作品の設計	□部品を適切に調整しながら組み立て、製作品を完成させる。	製作品の設計・製作手順を知る。	安全・適切に製作・実装することができ、製作品の動作点検及び、調整等ができる。		自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている
1	生活や社会を支える技術	生物を育てる技術を見つけることができる。	生活や社会を支える生物育成の技術の例や、問題解決の工夫について調べる。			自分なりの新しい考え方や捉え方によって解決策を構想しようとしている
2 3	まとめ	育成計画、結果の報告書を作成することができる。	Excelを使って、育成計画、結果の報告書を作成することができる。	設計の考え方や手順を理解している	課題を解決するために、条件を踏まえて適切なメディアを選択し、構想を具体化して設計や計画をまとめている。	自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう粘り強く改善・修正しようとしている

第【2】学年 【家庭】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主な学習活動・内容	評 価 規 準		
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	技能・知識・理解
4	住生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきを理解する。 ・日本の住まいの特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・日本各地の住まいの特徴を考える。 ・住まいの中で行われる生活行為を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいに関心を持ち、住まいの働きを考えようとしている。 ・家族の生活と住まいのかかわりについて関心を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った住空間を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気候や風土に合った住まいを考えられることができる。 ・住まいの基本的な機能について理解する。 ・気候や風土のあった住居が理解できる。
5		<ul style="list-style-type: none"> ・家族と住まいのかかわりを考える。 ・生活行為と住空間と関係を理解できる。 ・安全に住むにはどうしたらよいかを考える。 ・安全な住み方の工夫ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で居心地よく住むための室内環境の条件を知り、改善方法を考える。 ・家庭内事故の起きやすい場所や原因と対策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の健康を考え、心地よく住むための条件を考えようとしている。 ・自分の住まいの問題点を見直し、具体的に改善する方法を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の事故防止の工夫を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活空間と住空間に分けることができる。 ・健康で快適な住み方に必要な基礎的な技能を身に付けている。 ・生活行為と住空間の関係について理解できる。 ・快適に住むための条件や方法がわかる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい住み方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人の立場にたって、心地よく住むために出来ることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしやすい住まいにするために課題を持ち解決への意欲を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人の立場にたつた住み方を工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に住むための室内環境を理解することができる。
6 7		<ul style="list-style-type: none"> ・家族が暮らしやすい住まいを考え、デザインすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢のマイホーム作成 ・家族が暮らしやすい住まいを考え、デザインする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品製作に意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な住まいになるよう、様々な工夫を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な住まいをデザイン(間取り図を書く)することができる。 ・快適な住まいに必要な、安全面・衛生面での条件を理解することができる。
9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働きについて知ることができる。 ・洋服と和服の違いを理解し、和服の文化を伝えることの大切さに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活とのかかわりを踏まえ、衣服の社会生活上の働きを理解する。 ・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活とのかかわりに関心を持ち、時、場所、場合に応じた衣服を着用しようとしている。 ・洋服と和服の違いについて関心をもって調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた着方を考え、工夫している ・衣服と社会生活のとかかわりを考えながら、個性を生かした着方について工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上の機能について理解している。 ・衣服構成や洋服、和服の特徴が理解できる。 	

	衣生活と自立		<ul style="list-style-type: none"> ・洋服と和服の違いを理解し、和服の文化を伝えることの大切さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな地域の衣文化に関心をもって取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを衣服で表現する着方について考え工夫している。 	
11		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の材料や状態に応じて適切な手入れができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の材料や状態に応じて適切な手入れの方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常食の手入れに関心を持ち洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修などの手入れについて考え工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手入れの必要性や布の性質、汚れの種類とその特徴について理解している。 ・適切な手入れをすることができる。
12		<ul style="list-style-type: none"> ・環境や資源に配慮した衣生活をおくるための課題を見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活を振り返り、環境や資源に配慮した衣生活を送るための課題をみつけ、自分にできることは何かを考え実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と資源や環境のかかわりについて考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の生産から廃棄までの流れについて自分にできることを考え工夫している。 	
1 2 3	生活を豊かにするために	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な技能について知り、安全に製作することができる。 ・製作に必要な知識と技能を身に付けることができる。 ・製作に意欲的に取り組み、完成させて、活用することを通して生活を豊かにすることができる。 ・目的に応じた縫い方や用具の安全な使い方を理解できる。 	<p>被服実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作に意欲的に取り組み、完成させて、活用することを通して生活を豊かにする。 ・目的に応じた縫い方や用具の安全な使い方を理解できる。 ・製作に意欲的に取り組む。 ・オリジナルな作品にするための工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に関心を持っている。 ・製作に必要な用具を準備している。 ・意欲的に製作をしようとしている。 ・準備、後片付けがスムーズに行える。 ・計画通りに進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫したオリジナルのデザインを考えることができる。 ・効率の良い作業順序を考えようとしている。 ・出来上がりを美しくするために縫い方や縫い目を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の玉結び、玉止めができる。 ・手縫いで正しく美しく縫うことができる。 ・器具を正しく使うことができる。 ・製作に必要な用具の種類や使い方がわかる。 ・布の方向がわかる。 ・様々な縫い方(ステッチ)がわかる。 ・出来上がるまでの工程が理解できる。

第【 2 】学年 【 英語 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	Unit 0 My Spring Vacation	思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。	[題材内容] 春休みの経験 [言語材料] 過去形や過去進行形を用いた文、 There is [are] [言語の働き] 発表する，感想を述べる	[知識]過去形や過去進行形を用いた文、There is [are] の文の形・意味・用法を理解している。 [技能]思い出について、過去形や過去進行形、There is [are] の文を使い分けて、自分が経験したことを伝える技能を身につけている。	思い出を伝えるために、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしている。	思い出を伝えるために、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしようとしている。
	Unit 1 A Trip to Singapore	[題材] 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 [活動] 休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。	[題材内容] 海外旅行 [学習内容] be going to や助動詞 will を用いた文、SVOO, SVOC [言語の働き] 質問する，申し出る，説明する，描写する，報告する	[知識]be going to や助動詞 will を用いた文、SVOO, SVOCの文の形・意味・用法を理解している。 [技能]be going to や助動詞 will, SVOO や SVOC の文の理解をもとに、予定や意思、予測などを伝え合ったり、名所の紹介や旅行の報告についての英文の内容を読み取ったりする技能を身につけている。	おたがいの予定や観光名所の特徴、旅行の楽しさなどを知るために、予定について伝え合ったり、名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりしている。	おたがいの予定や観光名所の特徴、旅行の楽しさなどを知るために、予定について伝え合ったり、名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりしようとしている。
	Let's Talk 1 ホテルでのトラブル	場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。	[学習内容] 場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりする。	[知識]苦情を言うときや謝罪するときの表現の意味や働きを理解している。 [技能]ホテルでのトラブルについて、苦情を言うときや謝罪するときの表現を用いて、状況を伝えたり、謝ったりする技能を身につけている。	ホテルでのトラブルを解決できるように、状況を整理して、相手が理解しやすいように伝えたり、謝ったりしている。	ホテルでのトラブルを解決できるように、状況を整理して、相手が理解しやすいように伝えたり、謝ったりしようとしている。
	Unit 2 Food Travels around the World	[題材] 日本や外国の料理を知り、食文化の歴史や変化について考える。 [活動] 好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。	[題材内容] 食文化 [言語材料] 接続詞 when, if, that, because [言語の働き] 発表する，仮定する，招待する，質問する，説明する	[知識]接続詞 when, if, that, because を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]接続詞 when, if, that, because を用いた文の理解をもとに、時や条件、考えや理由など理解したり伝えたりする技能を身につけている。	料理や食文化について伝え合うために、好きな食べ物やレストランとおすすめの理由などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを表現したりしている。	料理や食文化について伝え合うために、好きな食べ物やレストランとおすすめの理由などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを表現したりしようとしている。

Let's Talk 2 ていねい なお願い	場面や相手に応じて、 ていねいに許可を求め たり、依頼したりするこ とができる。	[学習内容] 場面や相手に応じて、ていねいに許 可を求めたり、依頼したりする。	[知識] ていねいに許可を求める表現や 依頼する表現の意味や働きを理解して いる。 [技能] 相手にしてほしいことについて、 ていねいに許可を求める表現や依頼す る表現を用いて、伝えたり答えたりする 技能を身につけている。	相手や場面に応じて、ていねいに許可 を求めたり、依頼したりしている。	相手や場面に応じて、ていねいに許可 を求めたり、依頼したりしようとしてい る。
Gramma r for Comm unicat ion 2	接続詞を用いた文の形 ・意味・用法を復習し、 理解を確かめる。	[学習内容] 接続詞	[知識] 接続詞を用いた文の形・意味・用 法を理解している。 [技能] 2つ以上の文の関係を考えて、適 切な接続詞を使う技能を身につけてい る。		
学び方コ ーナー ①	英語の単語を覚えるた めに、音とつづりと意味 について知る。	[学習内容] 音とつづり			英語の単語を覚えるために、音とつづり と意味についての知識を活用しようと している。
Let's Listen 2 インタビ ュー	インタビューを聞き、質 問の内容や答えを聞き 取ることができる。	[学習内容] インタビューを聞き、質問の内容や 答えを聞き取る。	[知識] 時や理由を伝える表現の意味や 働きを理解している。 [技能] 時や理由を伝える表現の意味や 働きの理解をもとに、仕事についてのイ ンタビューを聞いて、その内容を捉える 技能を身につけている。	職場体験をしている場面で、自分ならど んな質問をしたいか考えられるように、 仕事についてのインタビューを聞いて、 要点を捉えている。	職場体験をしている場面で、自分ならど んな質問をしたいか考えられるように、 仕事についてのインタビューを聞いて、 要点を捉えようとしている。
Unit 3 My Futur e Job	題材 これからの社会を 想像し、自分の将来像 や夢について考える。 活動 自分が体験した ことや学んだことなど について、たずねたり伝え たりすることができる。	[題材内容] 将来の職業 [言語材料] 不定詞 [言語の働き] 説明する、報告する、質問する、発 表する	[知識] 不定詞を用いた文の形・意味・用 法を理解している。 [技能] 不定詞を用いた文の理解をもと に、何かをする目的や感情の原因、大 切だと思うことを伝えたり、言葉に情報 を加えて説明したりする技能を身につ けている。	自分の将来像や夢を考えて伝え合うた めに、職業について書かれた文章の概 要を捉えたり、自分の夢や夢実現のた めに行っていることなどについて説明し たりしている。	自分の将来像や夢を考えて伝え合うた めに、職業について書かれた文章の概 要を捉えたり、自分の夢や夢実現のた めに行っていることなどについて説明し たりしようとしている。
Let's Write 1 留守番電 話のメッ セージへ の返信	留守番電話のメッセー ジを聞いて内容を理解 し、相手に返信メールを 書くことができる。	[学習内容] 留守番電話のメッセージを聞いて内 容を理解し、相手に返信メールを書 く。	[知識] 電子メールの基本的な構成や表 現を理解している。 [技能] 電子メールの基本的な構成や表 現を用いて、留守番電話のメッセー ジで聞いたことについて、返信メールを書く 技能を身につけている。	留守番電話のメッセージで聞いたこと について返信するために、伝えたい内容を 整理して、返信メールを書いている。	留守番電話のメッセージで聞いたこと について返信するために、伝えたい内容を 整理して、返信メールを書こうとしてい る。

7	Grammar for Communication 3	不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[学習内容] 不定詞	[知識]不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]不定詞を用いて、目的やしたいことなどを伝える技能を身につけている。		
	Learning TECH NOLOGY in English	情報技術の活用の仕方考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりすることができる。	[学習内容] 情報技術の活用の仕方考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりする。	[知識]スマートフォンなどの情報技術に関係する語彙を理解している。 [技能]情報技術の進歩について、事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、やり取りしたり、書いたりする技能を身につけている。	情報技術の活用の仕方考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりしている。	情報技術の活用の仕方考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりしようとしている。
Stage Activity 1 A	Message to Myself in the Future	好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。	[学習内容]好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書く。	[知識]Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能]Unit 3 までの学習事項を用いて、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を伝え合って整理し、未来の自分へのメッセージを書く技能を身につけている。	10年後の自分へのメッセージを伝えるために、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について書いている。	10年後の自分へのメッセージを伝えるために、おたがいの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について書こうとしている。
Let's Read 1	History of Clocks	説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	[学習内容]説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりする。	[知識]時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。 [技能]時間の経過を表す語句の意味や働きを理解をもとに、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを捉える技能を身につけている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。
9	Let's Listen 3	天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 天気予報	[学習内容]天気予報を聞き、必要な情報を聞き取る。	[知識]未来を表す表現の意味や働きを理解している。 [技能]未来を表す表現の意味や働きを理解をもとに、天気予報の内容を聞き取る技能を身につけている。	週末の予定を立てるために、天気予報やおすすめの場所の情報を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	週末の予定を立てるために、天気予報やおすすめの場所の情報を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。

	Unit 4 Homestay in the United States	<p>題材 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。</p> <p>活動 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。</p>	<p>【題材内容】 ホームステイ</p> <p>【言語材料】 have to, 助動詞 must, 動名詞</p> <p>【言語の働き】 質問する, 繰り返す, 約束する, 質問する, 報告する, 苦情を言う</p>	<p>【知識】have to, 助動詞 must, 動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】have to, 助動詞 must, 動名詞を用いた文の理解をもとに, 必要があることやしなければならないこと, 事実や気持ちを伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、習慣やマナーについて書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを伝えたりしている。</p>	<p>日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、習慣やマナーについて書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを伝えたりしようとしている。</p>
10	Let's Write 2 ホームステイのお礼状	<p>お世話になった人へ、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。</p>	<p>【学習内容】 お世話になった人へ、手紙で感謝の気持ちを伝える。</p>	<p>【知識】手紙を書く際の基本的な構成と表現を理解している。</p> <p>【技能】手紙を書く際の基本的な構成と表現を用いて、お世話になったことなどについて、感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。</p>	<p>ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書いている。</p>	<p>ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書こうとしている。</p>
	Grammar for Communication 4	<p>助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。</p>	<p>【学習内容】 助動詞</p>	<p>【知識】助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】助動詞を用いて、できることやしなければならないことを伝える技能を身につけている。</p>	/	
	学び方コーナー ②	<p>聞き手に内容がよく伝わるように、英語の文章を音読することができる。</p>	<p>【学習内容】 聞き手に内容がよく伝わるように、英語の文章を音読する。</p>	/		<p>聞き手に内容がよく伝わるように、意味の区切りを意識して英語の文章を音読しようとしている。</p>
11	Let's Listen 4 電車の運行情報	<p>運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。</p>	<p>【学習内容】 運行情報を聞き、必要な情報を聞き取る。</p>	<p>【知識】現在の状況や原因を伝える表現、路線や行き先を表す表現の意味や働きを理解している。</p> <p>【技能】現在の状況や原因を伝える表現、路線や行き先を表す表現の意味や働きの理解をもとに、電車の運行状況を聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。</p>	<p>電車が遅延している状況で、目的地に行くために必要な情報を、運行状況のアナウンスから聞き取っている。</p>	<p>電車が遅延している状況で、目的地に行くために必要な情報を、運行状況のアナウンスから聞き取ろうとしている。</p>
	Unit 5 Universal Design	<p>題材 だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。</p> <p>活動 身近なもの・こと</p>	<p>【題材内容】 ユニバーサルデザイン</p> <p>【言語材料】 (疑問詞+to)を用いた文や(主語+be 動詞+形容詞+that)</p> <p>【言語の働き】</p>	<p>【知識】(疑問詞+to)を用いた文や(主語+be 動詞+形容詞+that)の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】(疑問詞+to)を用いた文や(主語+be 動詞+形容詞+that)の文の理解をもとに、使い方ややり方、確信や喜びの気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>だれもが暮らしやすい社会について考えるために、身近なものやことの使い方ややり方を説明したり、相手の考えや気持ち、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり、してみたいことを伝え合ったりしている。</p>	<p>だれもが暮らしやすい社会について考えるために、身近なものややり方を説明したり、相手の考えや気持ち、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり、してみたいことを伝え合ったりしようとしている。</p>

	について、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。	質問する、説明する、発表する、意見を言う	けている。		
Let's Talk 3 電車の乗りかえ	乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。	[学習内容] 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりする。	[知識]乗り物での行き方をたずねる表現や乗りかえに関する表現の意味や働きを理解している。 [技能]電車の乗り換えについて、乗り物での行き方をたずねたり答えたりする技能を身につけている。	乗り物で目的地に到着できるように、行き方についてたずねたり、答えたりしている。	乗り物で目的地に到着できるように、行き方についてたずねたり、答えたりしようとしている。
Let's Listen 5 留守番電話	留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。	[学習内容] 留守番電話を聞き、主な内容を理解する。	[知識]電話での対応で用いる表現の意味や働きを理解している。 [技能]電話での対応で用いる表現の意味や働きの理解をもとに、留守番電話のメッセージの内容を聞き取る技能を身につけている。	待ち合わせの約束をしたりしたいことを伝えたりできるように、留守番電話のメッセージを聞いて、必要な情報を聞き取っている。	待ち合わせの約束をしたりしたいことを伝えたりできるように、留守番電話のメッセージを聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
Unit 6 Research h Your Topic	題材 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 活動 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。	[題材内容] 映画についての調査 [言語材料] 比較表現 [言語の働き] 質問する、意見を言う、礼を言う、発表する、報告する、褒める	[知識]比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて説明する伝え合える技能を身につけている。	調査や発表の効果的なやり方について考えるために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、特徴を比較しながら調査の結果や意見を伝え合ったりしている。	調査や発表の効果的なやり方について考えるために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、特徴を比較しながら調査の結果や意見を伝え合ったりしようとしている。
Let's Talk 4 買い物	自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。	[学習内容] 自分の好みや要望を伝えながら買い物をする。	[知識]好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解している。 [技能]好みや要望を伝える表現を用いて、買い物のやり取りをする技能を身につけている。	買い物でほしいものを探ることができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えている。	買い物でほしいものを探ることができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。
Grammar for Communication 5	比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[学習内容] 比較表現	[知識]比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]複数のものや人について、形や性質などを比較して伝える技能を身につけている。	/	
12 Stage Activity 2 Research and	クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。	[学習内容] クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表する。	[知識]Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能]Unit 6までの学習事項を用いて、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表する技能を身につけている。	聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表している。	聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表しようとしている。

	Prese ntatio n					
	学び方コ ーナー ③	あるテーマについて、 自分の賛成や反対の意 見を述べることができ る。	[学習内容] あるテーマについて、自分の賛成や 反対の意見を述べる。			あるテーマについて、自分の賛成や反 対の意見を効果的に伝えようとしてい る。
	Let's Read 2 A Glass of Milk	物語を読み、場面や登 場人物の心情の変化を 読み取ったり、気持ちを こめて音読したりするこ とができる。	[学習内容] 物語を読み、場面や登場人物の心情 の変化を読み取ったり、気持ちをこ めて音読したりする。	[知識]場面や登場人物の心情を表す表 現を理解している。 [技能]場面や登場人物の心情を表す表 現の理解をもとに、物語の流れに沿って 登場人物の気持ちを読み取る技能を身 につけている。	気持ちをこめて音読することができるよ うに、物語の場面や登場人物の心情の 変化を読み取っている。	気持ちをこめて音読することができるよ うに、物語の場面や登場人物の心情の 変化を読み取ろうとしている。
1	Let's Listen 6 商品のコ マーシャ ル	商品のコマーシャルを 聞き、商品の特長を聞 き取ることができる。	[学習内容] 物語を読み、場面や登場人物の心情 の変化を読み取ったり、気持ちをこ めて音読したりする。	[知識]2つ以上のものを比べる表現の 意味や働きを理解している。 [技能]2つ以上のものを比べる表現の 意味や働きの理解をもとに、商品につ いてのコマーシャルの内容を聞き取る技 能を身につけている。	購入する商品を判断できるように、新商 品についてのコマーシャルを聞いて、特 長などの必要な情報を聞き取っている。	購入する商品を判断できるように、新商 品についてのコマーシャルを聞いて、特 長などの必要な情報を聞き取ろうとし ている。
	Unit 7 World Herita ge Sites	[題材] 世界遺産の特徴 について知り、その特 別な価値について考え る。 [活動] 各地の世界遺産 を紹介することができる。	[学習内容] 商品のコマーシャルを聞き、商品の 特長を聞き取る。	[知識]受け身の文の形・意味・用法を理 解している。[技能]受け身の文の理解を もとに、世界遺産などについて事実な どを整理し、理解したり伝え合ったりする 技能を身につけている。	世界遺産の特徴を知り、その価値につ いて考えるために、事実などを整理し、 紹介された文章の概要を捉えたり、調べ たことを紹介したりしている。	世界遺産の特徴を知り、その価値につ いて考えるために、事実などを整理し、 紹介された文章の概要を捉えたり、調べ たことを紹介したりしようとしている。
2	Let's Talk 5 電話での やり取り	自分の好みや要望を伝 えながら電話で用件を 伝えることができる。	[題材内容] 世界遺産 [言語材料] 受け身 [言語の働き] 説明する、質問する、繰り返す、発表 する	[知識]電話での対応の表現や好み・要 望を伝える表現の意味や働きを理解し ている。 [技能]電話での対応の表現や好み・要 望を伝える表現を用いて、電話で用件を 伝えたり答えたりする技能を身につけ ている。	電話で待ち合わせの約束などの相談が できるように、自分の好みや要望を伝 えながら、用件を伝えたり答えたりし ている。	電話で待ち合わせの約束などの相談が できるように、自分の好みや要望を伝 えながら、用件を伝えたり答えたりし ようとしている。

3	Grammar for Communication 6	受け身の文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	[学習内容] 受け身	[知識]受け身の文の形・意味・用法を理解している。 [技能]身のまわりのことや人について、受け身の文を用いて、異なる視点で情報を伝える技能を身につけている。		
	Let's Listen 7 店内のアナウンス	店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。	[学習内容] 店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取る。	[知識]イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解している。 [技能]イベントの情報などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、アナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。	行きたい場所とその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスを聞いて、要点を捉えている。	行きたい場所とその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスを聞いて、要点を捉えようとしている。
	Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。	[学習内容] 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝える。	[知識]Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能]Unit 7までの学習事項を用いて、自分の町のおすすめの場所について、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。	ALTの先生に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	ALTの先生に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	[学習内容] 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解する。	[知識]時系列を表す文章構成や語句を理解している。 [技能]時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。